

第25回 近畿還暦軟式野球大会 開催要項

- 1 主催 全日本還暦軟式野球連盟
- 2 主管 近畿還暦軟式野球連盟
- 3 主担 兵庫県還暦軟式野球連盟
- 4 後援 三田市
三木市
神戸新聞社 ・毎日新聞神戸支局 ・サンテレビジョン
- 5 協賛 ナガセケンコー(株) ・マルエス(株) ・(株)共同写真企画
- 6 協力 名鉄観光サービス(株)
- 7 会期 令和8年5月26日(火)～5月27日(水) 予備日:5月28日(木)
- 8 競技会場 A会場：親和学園駒ヶ谷運動公園野球場
B会場：三田谷公園野球場
C会場：サムティドリームスタジアム(三木総合防災公園野球場)
D会場：三木山総合公園野球場
- 9 出場 チーム 全日本還暦軟式野球連盟近畿ブロック府県選出 計16チームとする。
◇兵庫県 6 チーム ◇大阪府 4 チーム ◇京都府 4 チーム
◇奈良県 1 チーム ◇滋賀県 1 チーム
- 10 出場資格 (1) 令和8年度全日本還暦軟式野球連盟に登録を完了したチーム及び選手。
(2) 1967年4月1日以前に出生した選手で組織するチーム。
(3) チームの編成は、監督を含め10名以上30名以内とする。
- 11 適用規則 2026年度公認野球規則及び本大会規則を適用する。
- 12 大会規則 (1) 全試合トーナメント方式で7回戦とするが、時間制を採用し110分を超えて新しいイニングに入らない。但し、5回までは行う。
尚、同点の場合は最終メンバー9名による抽選とする。(投手-捕手-…守備位置順)
抽選は抽選札の○×方式で行い、○の多い方が勝ちとする。(但し、決勝戦は除く)
(2) 決勝戦で7回を終了して同点の場合は、特別延長戦により決する。
① 特別延長戦は、一死満塁で継続打順とし、走者は前回の最終打者を一塁走者、二塁、三塁走者は順次前の打者とする。
② 決勝戦での特別延長戦は決着がつくまで行う。
(3) 5回以降得点差が7点以上の場合、コールドゲームを適用する。
(4) DH制(打者10人制)を採用し、従来の打者9人制との選択制とする。
① DHは守備に就けないが、打順は自由で代打、代走も送ることができる。
② DHは相手投手が交代しない限り、一度は打席に立たなければならない。
③ 守備に就いた選手は、DHにはなれない。
④ メンバー交換時にDHの有無を選択できるが、以降の変更はできない。
⑤ DHの選手は、打順表の守備位置欄にDと記載する。

- (5) 申告敬遠を採用する。
- (6) 投手板と本塁間の距離は16.30m、塁間は25mとする。
- (7) 大会使用球は、全日本還暦軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールM号とする。
- (8) スパイクはポイントであれば自由とする。(金具付き及び運動靴は禁止する)
- (9) ユニホームは同型・同色・同意匠のもので、企業名を入れてはならない。
- (10) ユニフォームパンツの裾は自由とする。
- (11) 不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟に定める規則により処理する。
- (12) 参加申し込み後の選手の変更、追加、背番号の変更は認めない。
- (13) 正当な理由なくして途中棄権をしてはならない。もし、その事実があった場合には、その事由の如何を問わず当該チーム及び所属ブロックはペナルティの対象とする。
- (14) サングラスは認める。但し、ミラーレンズは禁止とする。
- (15) 臨時代走は、打者が頭部他に死球を受けた場合、及び、打者走者が衝突等で負傷した場合に限り認める。その際は投手、捕手を除く前打者とする。
但し、自己負傷した時に代走を出す場合は選手交代とする、

13 組合せ 大会役員立会いのもと、下記により厳正に代理抽選を行う。

抽 選

- (1) 日 時 令和8年2月20日(金) 午後1時～
- (2) 場 所 尼崎市立小田南生涯学習プラザ 2F会議室

14 監督会議 実施しない。(事前に配布する大会要項を熟読のこと)

15 開会式 実施しない。(閉会式は行います)

16 表彰 優勝：賞状、優勝旗(持ち回り)、優勝杯(持ち回り) 賞品(ボール1ダース)
準優勝：賞状、準優勝盾(持ち回り) 賞品(ボール半ダース)
三位：賞状(2チーム)

個人賞(決勝戦進出チーム)：最優秀選手賞、敢闘賞、打撃賞、勝利監督賞

17 参加 令和8年2月10日(火)着で、2026年度『全還連主催大会参加申込書シート』で申し込むこと。

申込み

参加申込書はeメール(電子データ)での提出をお願いします。

〈申込先〉 Eメール:aoki17101@ybb.ne.jp
大会事務局長 青木 慎一
〒664-0027 兵庫県伊丹市池尻7-162-4
携 帯:090-9987-5615

18 参加料 1チーム60,000円を、令和8年2月13日(金)までにチーム名で下記口座に振込んでください。

《ゆうちょ銀行からの振込》

ゆうちょ銀行 記号:14380 口座番号：66979951
口座名義人 兵庫県還暦軟式野球連盟 会計 尾崎 行雄

《他行からの振込》

ゆうちょ銀行(店名 四三八:よんさんはち)(店番 438)
普通預金 口座番号:6697995
口座名義人 兵庫県還暦軟式野球連盟 会計 尾崎 行雄

- 19 宿舎等 宿舎及び弁当の斡旋は、大会運営上、大会事務局が指定する業者に一任して下さい。
斡旋 尚、「宿泊・昼食弁当のご案内」は「組合せ表」と共に後日お送りいたします。。

【申込み先】

〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目3-45 マルイト西梅田ビル4階

名鉄観光サービス株式会社 (ジョウシ)

大阪教育・スポーツ支店 担当：加藤 正志 ・城使 大介 宛

TEL:06-4797-5753 FAX:06-4797-5760

E-mail：masashi.kato@mwt.co.jp

- 20 その他
- (1) 出場チームは必ずスポーツ保険に加入し、選手は健康保険証等を持参する。大会期間中の傷病については、大会本部で応急手当までとし、それ以降は当該チーム又は個人で負担のこと。
 - (2) 大会冊子の頒布は、1チーム20名分までとし、追加を希望するチームは、1冊500円で予約販売します。(参加申込書時に必要部数を申込み)
 - (3) 翌日の弁当予約を行う際は、試合終了後に行うこと。
 - (4) その他不明な点については、下記大会事務局までお問い合わせください。
 - (5) 個人情報の取り扱いについて、主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努める。取得した個人情報は、大会に関する諸連絡に利用するほか、連絡先以外の個人情報並びに大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、プログラム・ポスター等の宣伝材料、新聞・インターネット等の媒体に掲載することがあります。
参加者は、大会に出場する要件としてこれに同意する。

大会運営に関するお問合せ先

◆ 大会実行委員長 安田 昭人

〒675-0115 兵庫県加古川平岡町一色331-3

携帯:090-8535-2052

Eメール:tieko0614@bb.banban.jp

◆ 大会事務局長 青木 慎一

〒664-0027 兵庫県伊丹市池尻7-162-4

携 帯:090-9987-5615

Eメール:aoki17101@ybb.ne.jp

大会細則及び競技運営に関する取り決め事項

1. 出場チームは必ず試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着していること。
2. 試合開始時刻までに何の連絡も無くチームが到着しない時は、棄権したものとみなして処理する。
3. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。但し、試合が連続の場合はベンチ移動せず、対戦チームは空き側ベンチに入ること。
4. 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、その他の試合については、前の試合の4回終了までに、それぞれ主将が打順表5部を大会本部に提出し、登録原簿との照合を受けた後、審判員立会いのうえ攻守を決定する。打順表は先発メンバーのみ記入し、交代選手の確認は参加申込書により行う。打順表は本部で用意する。
5. 監督・主将の変更または代行については、試合前に打順表に記入し、提出時に本部・審判員・対戦チームの確認のもとに行う。
6. シートノックは行わない。但し、試合前の練習については球場責任者の指示に従うこと。また、次の試合のバッテリーは打順表交換後、前の試合の4回終了以降、球場内の所定の場所にて審判員の指示により投球練習を認める。
7. ベンチ入りできる者は、ユニフォームを着用した登録された監督・選手のほか、代表者、マネージャー、記録員各1名とする。ユニフォーム着用者以外はグラウンドに出ることはできない。
8. 選手交代は監督が同行して球審のところへ行き交代を告げ、背番号を本部席および対戦チームに見せ、確認後プレーに入る。
9. 日没、降雨その他の理由によって、審判員が試合の続行不可能と認めた時点で、すでに5回を完了している場合または110分が経過している場合は、それまでの得点によって勝敗を決する。同点の場合は抽選とする。但し、5回を完了していない場合または110分を経過していない場合は、同一条件で特別継続試合とする。特別継続試合は翌日の第1試合に先立って行う。
10. 危険防止の為、打者・走者・次打者・ベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。
11. 捕手については、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースの着用を義務付ける。ファウルカップは着用が望ましい。
また、攻守交代時の投球練習を補佐する選手もマスクの着用を義務付ける。
12. 金属バットは連盟公認のJSBBマークのついたものに限る。
13. 球場毎のローカルルールについては審判員の指示に従うこと。
14. 雨天の場合でも大会本部より連絡のないかぎり試合は行う。
早朝雨天の場合は午前7時から、第1試合チーム順に各連絡責任者あてに大会本部から連絡する。その他の場合は、大会本部にて天候状況等を判断して随時当該チームに連絡する。
15. 試合中に雷が発生した場合は直ちに試合を中断し、全員を安全な場所に避難させ、気象状況を把握・判断して再開等を本部で決定する。

審判上の注意事項

1. 攻守交代は駆け足で行う。
ただし、投手に限り内野地域内は歩いても差し支えない。
また、監督等もマウンドへの往復は小走りでスピーディーに行うこと。
2. 危険防止の為、本塁での衝突プレイなど、コリジョンルールの適用を厳格に行う。
3. 投手と捕手について
 - (1) 投手の投球練習は初回7球(投手交代時も同様)以降は3球とする。
 - (2) 投手が捕手のサインを見る時は、走者の有無に関わらず必ず投手板に着いてみること。
 - (3) あまりインターバルが長かったり、無用な牽制に度が過ぎると、遅延行為として、ボークを課すことがある。
 - (4) 投球を受けた捕手は速やかに投手に返球すること。又、捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
4. 打者について
 - (1) 投手が投球位置にいる、いないに関係なく、速やかにバッターボックスに入ること。
 - (2) みだりにバッターボックスを外したときは、球審はタイムをかけずに、投球に対して正規に判定を宣言する。
 - (3) 次打者は、必ずネクストバッターズサークルに入り、立ち姿勢で待つこと。
 - (4) ネクストバッターズサークルでの素振りについては、投球時は禁止とする。
 - (5) バッターボックス内でベンチ等からのサインを見ること。
 - (6) 各イニングの投球練習時の先頭バッターは、ネクストバッターズサークルで待機すること。
5. 内野手間の転送球について
 - (1) 試合中の内野手間の転送球は各イニングの初め1回以内とし、最終野手は定位置から投手に返球する。尚、試合の進行状況や天候状態によっては審判員の判断で、途中から転送球を中止する場合もある。
6. タイムについて
 - (1) 試合中のタイムは、守備側で3回、攻撃側で3回までとする。但し、投手交代は除く。
尚、決勝戦における延長戦は2イニングに1回とする。
タイムの時間は各1分以内を限度とする。但し、審判員が認めた場合はこの限りではない。
 - (2) 監督は、タイムを要求しないでみだりにベンチから出てはならない。
 - (3) 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すなどのタイムは認めない。
 - (4) 守備側からのタイムの要求で試合が中断された場合は、その間投手は捕手と投球練習をしてはならない。
7. 抗議について
 - (1) 審判員に対する抗議の申し立ては、そのチームの監督と当事者のうち1人のみ行うことができる。
8. その他
 - (1) 本塁打の走者を迎える場合は、ベンチ前のみとする。
 - (2) 攻守交代時に、最後のボール保持者は投手板にボールを置いてベンチに戻る。
 - (3) ファウルボールおよびボールデッドのボールは、各ベンチサイドのチームが回収する。
 - (4) ベースコーチ以外はグラウンド内に出てはならない。但し、ファウルボール等を回収するものは除く。
 - (5) ベンチ正面前でのキャッチボールは禁止する。